

中高接続について

R8.8.28

第3回長野市立長野中学校・長野高等学校
改革検討委員会資料

**FEEL NAGANO,
BE NATURAL**

この街で、わたしらしく生きる。長野市

1 中高の接続を意識した取組

(1) 行事・生徒会での交流

文化祭(全校制作と開祭式は合同)、生徒会挨拶運動(月1)

(2) 高校部活動への体験入部(中学3年10月より開始)

(3) 高校教諭による授業

【数学】 少人数学習のサポート 中2(週3時間)・中3(週4時間)

【英語】 探究英語の時間にTT指導のサポート 中3(週2時間)

(4) クラス(学級・授業)編成

【学級編成】 中進生(70名)と高入生(90名)を混ぜて4クラス編成

【数学授業】 高校1年時 数学授業 中進生と高入生を分けて編成

(5) ゆとりある学び(個性伸張と探究学習)の充実

- ・ 中3後期、教科学習は先取りメインではなく復習中心
- ・ 卒業間際まで翼プロジェクトテーマの追究
- ・ 3月に国内語学研修を実施

(6) 先取り学習の実施

【数学】 中学3年時、1月より先取り学習を行っている

【英語】 特設科目「探究英語(週1時間)」で発展的な内容を随時扱っている

2 令和8年度中高一貫校学級編成等

	学級編成	授業	中学先取り科目
屋代	内進生と外進生 別学級	5教科 別講座 別カリキュラム	主要5教科で単元の 組換えや発展的内容 として取扱い有
諏訪清陵	混在	混在	なし
長野日大	・探究創造コース出身 は混在 ・アドバンストコース (進学)出身は別学級	・探究創造コース出身 は混在(進学、特進、探 究創造コース) ・アドバンストコース出 身は別カリキュラム	・探究創造コース出身 はなし ・アドバンストコース出 身は数学、英語、国語
長野清泉	混在	混在	なし
文化学園	混在(令和8年度から)	混在(共学部の特進選 抜コース)	なし
市立長野	混在	混在	なし ※中3後期に高1数学を 実施。高1では復習とし て再度学習。

3 これまでの経緯

(開校時は行われていたが現在は行われていない取組など)

(1) 中3・高1の副担任制

- ・ 中学3年生の副担任を高校教諭1名が担当
- ・ 中学教諭1名が高校1年の副担任を担当
- ・ 令和4年度まで実施したが、教員の負担軽減から現在は行っていない

(2) 特設科目の内容

- ・ 開校時は「探究英語」「探究数学」「探究国語」の3コマ(35時間×3)を特設科目として標準授業時数より多く行っていた
- ・ そのため木曜日7時間、土曜日毎月1・2回は授業を実施
- ・ この時間を中心に高校教諭による授業や先取り学習を実施
- ・ 令和5年「探究数学」と「探究国語」を統合して「探究基礎」に変更
主な理由は、数学や国語の先取りよりも探究学習を充実させるため、生徒と教員の負担を軽減するため
- ・ 現在「探究基礎(35h)」は情報活用能力(15h)、発展数学(10h)、総合的な学習の時間の補完(10h)で計画・試行している。

(3) 探究学習

- ・ 中学高校共に「翼プロジェクト」として活動。中学では「総合的な学習の時間」を設定し、学年ごとに目標を決め活動している。
- ・ 高校では本校中学で探究活動を行った生徒と、高校からの入学生がフラットな状態から、探究学習を始める。

現在の課題

- ・ 高校1年生の探究学習の授業は高入生を加えてガイダンスを行うので、中入生にとっては既習内容となり授業内容が物足りなくなることもある。
- ・ 高校の探究学習は自己の関心をもとに決定した内容を行うため、より専門性を持った方にアドバイスをもらう機会が増える。そのため、教員だけでその期待に応えることは難しくなる。
- ・ 中高の探究活動の一貫性を持たせる、また生徒と外部の人材をつなげることが出来る専門的な人を、教員に限らず配置できると生徒の希望に応えられる。